

社保シリーズ

う蝕処置の算定

5

社保研究部

症例解説

06年の診療報酬改定で普通処置がう蝕処置と咬合調整に再編されたことによって、一部算定不可となっていた処置が08年4月改定で復活した。

ダツリ再セット時のう蝕処置や除去に含まれていた同日のう蝕処置である。また、咬調に分類されていた抜歯禁忌症の残根削合がう蝕処置に移ったので注意したい。

カルテには、算定した部位ごとに処置内容と使用した材料名を記載する。

レセプト摘要欄に記載が必要なのは、覆罩後に暫間充填した場合や暫間根充したときで、「○日○日暫間充填」または「○日○日暫間根充」と記載する。ただし、覆罩やダツリ再セットの際の軟化象牙質除去のう蝕処置なら、摘要欄記載は不要になる。

う蝕処置と同日に形成までしなければ浸麻は別途が算定できる。08年改定で窩洞形成の点数が引き上げられたため、単純窩洞であっても、充形、修形よりもK Pの方が点数が高くなる。

抜歯禁忌などの理由からやむを得ず残根の削合のみを行った場合は、う蝕処置で算定する。

ダツリ再セットの際に軟化象牙質除去した場合は、う蝕処置が算定できる。

除去と同日でも、う蝕処置が算定できる。

浸麻 — 浸麻 29点
う蝕 — う蝕 16点
覆罩 — 覆罩 25点
修形 120点 K P 54点

歯科診療報酬に関する疑義解釈(08年10月1日)

厚生労働保険局医療課が10月1日に発出した疑義解釈の事務連絡通知のうち、主なものは下記のとおり。

【指導管理料】

（問1）患者が初診後に歯科疾患管理料を算定する前に任意に診療を中止し、1月以上経過した後、再び同一の保険医療機関において診療を受ける場合であって、初診として取り扱う場合の歯科疾患管理料は、1回目又は2回目のいずれにより算定するのか。

（答）歯科疾患管理料（1回目）により算定する。

【処置】

（問2）再SRPを行った部位に対する歯周疾患処置は、再SRPを行った後に実施する歯周組織検査の結果を踏まえて、特定薬剤の注入を行った場合に算定するものと考えてよいか。

（答）そのとおり。

（問3）「歯周基本治療について、同一部位に2回以上同一の区分に係る歯周基本治療を行った場合の2回目以降の費用は、所定点数の100分の30に相当する点数により算定する。」とあるが、例えば、著しく歯科診療が困難な障害者に対して2回目以降のスクレーリング・ルートプレーニングを行った場合の算定方法如何。

（答）次により算定する。

前 歯：58点×30／100×（100+50）／100＝26.1→26点
小臼歯：62点×30／100×（100+50）／100＝27.9→28点
大臼歯：68点×30／100×（100+50）／100＝30.6→31点

【歯冠修復及び欠損補綴】

（問4）歯冠形成前に行ったりテイナー及びテンポラリークラウンの費用は算定できるか。

（答）算定できない。

（以下略）

部 位	傷 病 名	診療開始日
<u>7</u>	FCKダツリ，C ₃ （既根充歯）	20年10月1日
<u>6</u>	FCKダツリ，C ₂	20年10月1日
<u>6</u>	メタルコアフテキ	20年10月1日
<u>5</u>	インレーフテキ，C ₂	20年10月1日
<u>8</u>	C ₄	20年10月1日
〔主訴〕 かぶせが外れた。		
〔所見〕 <u>7</u> 再セット可能. <u>6</u> <u>5</u> は再製必要. <u>8</u> 抜歯忌避.		

月 日	部 位	療 法 ・ 処 置	点 数
10／1		初診	182
	<u>8</u> <u>7</u> <u>6</u> <u>5</u>	X-Ray（D） 2 F（48×2）	96
		<u>5</u> ODカリエス深く覆罩の必要を認める	／
		<u>6</u> 根充状態良好だが，カリエス深く支台築造必要	／
		<u>7</u> 根充状態良好，再setも可	／
		<u>8</u> C ₄ ，ビスフォスフォネート製剤服用のため割合のみ	／
		歯管	130
		う蝕が4本あるのは，歯磨きがうまくできていない	／
		ので，定期管理することを説明.	／
		（文書提供，カルテ添付）	／
	<u>8</u>	う蝕（残根削合）	16
	<u>7</u>	う蝕（カセ，軟化象牙質除去）	16
		ダツリFCK再set（初回set後2年超）	45
		接着材料Ⅰ（レセ）	16
	<u>6</u>	メタルコア除去	50
		う蝕（軟化象牙質除去）	16
		メタルコアimp	20
	<u>5</u>	浸麻（OA＋2％キシロカインCt1.8ml）（23＋6）	29
		インレー除去	15
		う蝕（カセ，軟化象牙質除去）	16
		間PCap（EZ）	25
		実地指	80
		衛生士にバス法での指導を指示	／
10／8		再診	40
	<u>6</u>	メタルコアset	223
		失PZ（FCK）	160
		メタルコア加算	30
		連imp（寒天＋アルジネート）	60
		BT	14
	<u>5</u>	浸麻（OA＋2％キシロカインCt1.8ml）	／
		KP（OD）	80
		連imp（寒天＋アルジネート）	60
		BT	14
10／15		再診	40
	<u>5</u>	12％金パラCK（OD）set（406＋45）	451
		接着材料Ⅱ（グセ）	12
	<u>6</u>	12％金パラFCKset（729＋45）	774
		接着材料Ⅱ（グセ）	12
		補管	100
10月分 3日分 2,822点			